

平成26年度
事業報告

公益財団法人日本ナショナルトラスト

目次

I 現況	1
1. 事業	1
2. 役員	1
3. 評議員.....	2
4. 事務局.....	2
5. 事業資金	2
II 理事会・評議員会	3
1. 理事会.....	3
2. 評議員会	3
III 事業実施の概要	5
1. 調査事業	5
2. 保護事業	5
3. 普及事業	11
4. ネットワーク事業.....	14
5. 団体交流事業	15
IV 登記事項、届出・報告・申請事項、登録事項	18
別表 東日本大震災自然・文化遺産復興支援プロジェクト助成金交付一覧表.....	19
参考 アドバイザー名簿、顧問名簿、参与名簿及び観光資源専門委員名簿.....	20

I 現況

1. 事業

定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 国民的財産として後世に継承するに足る観光資源の認定
- (2) 前号により認定された観光資源(以下「保護対象」という。)の取得及び管理運営
- (3) 観光資源に関する保護活動への支援
- (4) 観光資源に関する保護思想及び知識の普及向上
- (5) 観光資源に関する学術調査研究並びに情報の収集及び提供
- (6) 政府及び関係機関への観光資源の保護に関する建議又は陳情
- (7) この法人の健全な発展を図るために必要な関連事業の経営
- (8) その他目的を達成するために必要な事業

2. 役員

(1) 平成 27 年 3 月 31 日現在の役員

会長	梅崎 壽	東京地下鉄(株)相談役
代表理事		
副会長	川村 恒明	(公財)文化財建造物保存技術協会顧問
代表理事		
理事長	小山 正宣	常勤
業務執行理事		
理事	厚地 純夫	東海旅客鉄道(株)常務執行役員営業本部長
理事	木部 義人	(公財)日本ナショナルトラスト関西支部長
理事	栗田 亘	コラムニスト(元・朝日新聞社論説顧問)
理事	酒井 俊臣	西日本旅客鉄道(株)執行役員東京本部副本部長
理事	柴崎 信三	元・日本経済新聞社論説委員
理事	柴田 耕介	富士通(株)顧問
理事	杉田 房子	日本旅行作家協会評議員
理事	杉山 篤史	(一社)日本民営鉄道協会理事長
理事	鈴木 雅和	筑波大学教授
理事	中村 達朗	(一社)日本旅行業協会理事長
理事	原口 宰	東日本旅客鉄道(株)常務取締役
理事	見並 陽一	(公社)日本観光振興協会理事長
理事	村上 訥一	(公財)文化財建造物保存技術協会技術鑑査役
理事	廻 洋子	淑徳大学教授
理事	森 まゆみ	作家
理事	山村 明義	東京地下鉄(株)常務取締役

理事	山村 晋一	(公財)日本交通公社理事
監事	今村 正	税理士今村正事務所代表
監事	山科 清一	(公財)鉄道弘済会常務理事

3. 評議員

(1) 平成 27 年 3 月 31 日現在の評議員

評議員	大西 孝夫	前・(一財)休暇村協会理事長
評議員	黒野 匡彦	(一財)運輸政策研究機構会長
評議員	曾我 健	(公財)NHK交響楽団名誉顧問
評議員	田川 博己	(株)ジェイティービー代表取締役会長
評議員	堤 哲	元・毎日新聞編集委員
評議員	伏屋 和彦	元・会計検査院長(元・国税庁長官)
評議員	松山 良一	(独)国際観光振興機構理事長

4. 事務局

平成 27 年 3 月 31 日現在の職員 4 名

5. 事業資金

本財団の事業資金は、事業賛助団体からの寄附金並びに個人および団体からの会費等による。

Ⅱ 理事会・評議員会

1. 理事会

(1) 第1回理事会 平成26年5月20日

開催場所 海事センタービル7階会議室

決議事項 平成25年度事業報告及び決算報告、定時評議員会の招集の件、顧問の選任、
参与の委嘱、東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクトの今後の
方針

報告事項 平成26年度第2回理事会の開催

出席等 決議に必要な出席理事の数10名、出席14名、欠席6名。監事出席2名。

(2) 第2回理事会 平成26年6月16日

開催場所 海事センタービル7階会議室

決議事項 代表理事（会長及び副会長）の選定、業務執行理事（理事長）の選定、中
期計画骨子策定、アドバイザーの委嘱

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告

出席等 決議に必要な出席理事の数10名、出席15名、欠席5名。監事出席2名。

(3) 第3回理事会 平成26年12月17日

開催場所 海事センタービル8階会議室

決議事項 東日本大震災 自然・文化遺産支援プロジェクト支援対象の選定

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告、平成26年度第4回理事会
の開催

出席等 決議に必要な出席理事の数10名、出席10名、欠席10名。監事出席2名。

(4) 第4回理事会 平成27年3月10日

開催場所 海事センタービル8階会議室

決議事項 平成27年度事業計画及び収支予算、平成27年度補助金等の交付申請、特定
資産の取崩、次期中期計画の策定、定時評議員会の招集の件

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告、平成27年度第1回理事会
の開催

出席等 決議に必要な出席理事の数10名、出席13名、欠席7名。監事出席2名。

2. 評議員会

(1) 定時評議員会 平成26年6月16日

開催場所 海事センタービル8階会議室

決議事項 平成25年度事業報告及び決算報告、評議員の選任、理事の選任、監事の選
任

報告事項 平成26年度事業計画及び収支予算、平成25年度第2回、3回、4回理事会

及び平成 26 年度第 1 回理事会の決議事項

出席等 決議に必要な出席評議員の数 4 名、出席 6 名、欠席 1 名。同席理事 2 名、
同席監事 1 名。

Ⅲ 事業実施の概要

1 調査事業

(1) 受託調査

① 輪島市文化的景観保存計画拡充等業務(石川県輪島市)

間垣の里の文化的景観(大沢町・上大沢町)の重要文化的景観選定申出に向けて最終段階となり、保存計画や修理・修景のガイドラインの案について、行政および地元住民との協議を行った。12月19日に第8回委員会が開催され、重要文化的景観の選定申出に向けた検討事項について協議を行った。その後、選定申出書および報告書「輪島市大沢町・上大沢 間垣の里づくり計画 能登・間垣の里 文化的景観保存計画」を作成し、1月末に輪島市から文化庁へ選定申出書が提出された。今後、文化庁での検討を踏まえ、5月頃に文化審議会に諮問される予定である。

《委員》麻生恵・東京農業大学教授、木越祐馨・七尾市文化財保護審議委員、安藤邦廣・筑波大学教授、坂本英之・金沢美術工芸大学教授、大門哲・石川県立歴史博物館学芸員、松本清・当財団専門研究員、荒井歩・東京農業大学准教授、北口公男(輪島市文化財保護審議委員)、井池光夫(輪島市文化財保護審議委員)、高木信治(輪島市文化財保護審議委員)

* 石川県輪島市からの委託

② 「大都市圏に所在する文化財の外国人向けの利活用促進に関する市場調査」

観光庁から凸版印刷(株)が受託した大都市圏に所在する近代和風建築等の文化遺産(文化財)のユニークベニューとしての利活用の可能性を検証する調査においてモデルとなる文化財の提供、実証的利活用の推進、利用者へのアンケートやヒアリングによる調査を行った。文化財の維持保全を確保しつつ観光資源としての文化財の利活用促進について、ユニークベニュー等として実証的に利活用を行う中で、「文化財の維持保全」と「利活用の促進」の両立の可能性の検証について協力を行った。

* 凸版印刷株式会社からの委託

2 保護事業

(1) 文化財取得保護計画に基づく保護事業

① 白川郷合掌造民家(旧寺口家)の修復と管理運営(岐阜県白川村)

8月19日に白川郷荻町集落において守る会会長及び荻町区長、白川ボックス代表、役場担当者等と「白川郷合掌文化館及び旧寺口家管理運営委員会」を開催し、今後の管理計画及び次回の屋根葺きの計画についての検討を行った。また一部に雨漏りが発生したため、応急処置として12月28日にビニールシートで一時補修を行った。また、活用にむけて、自動火災報知設備工事を実施した上で、白川村と覚書を締結し、地域おこし協力隊への貸館の試行を開始した。また、10月14日～15日には村で行われた「どぶろく祭り」の手伝いに職員が参加し、地元住民との交流を深めた。

《管理運営委員会》和田正人・白川郷荻町集落の自然環境を守る会会長、和田茂・JNT白川ボックス代表/荻町区長、川田裕・白川村老人クラブ長生会会長、倉嘉宏・白川村教育委員会教育長、安藤邦廣・筑波大学名誉教授、杉田房子・日本旅行作家協会評議員(当財団理事)他

②動態保存車両(トラストレイン)の運行と定期点検及び修繕 (静岡県大井川鐵道)

4月～10月にかけて全5回のトラストレイン運行を無事に終了した。

8月23日には、次世代を担う子供たちが興味を持ってトラストレインと触れ合う機会を作るためトラストレイン親子ボランティアを企画し、22名の参加があった。車内アナウンス体験やクイズ大会などを行い好評を博した。また、12月6～7日には、ボランティアによりスハフ43客車の車体塗装作業を実施した。2月20日に運営会議を開催し、平成27年度のイベントや修繕計画等について協議を行った。併せて、大井川鐵道株式会社から提案されたC12タンク式蒸気機関車の動態復元保存について、協議を行った。

<運転日>4月19日(3名)、6月15日(6名)、7月5日(1名)、8月23日(22名)、10月4日(2名)※8月23日は親子ボランティアを実施

③ 名勝大乘院庭園保存整備と管理事業 (奈良県奈良市)

園池管理については、年度当初に藻の発生防止措置をとったため、年間を通じて概ね良好な状態を維持した。また、昨年頃から老朽化が顕著になった中島反橋について、一時的に池水を抜き調査を行ったところ、土台から上はほぼ全体的にシロアリ被害が及んでおり、構造体は耐力をほとんど有していないことが明らかとなり、文化庁および保護管理委員会ワーキング会議で協議を行った。2月27日に保護管理委員会を開催し、反橋の修理のあり方をはじめ、一昨年からの浸食が進行している護岸の復旧、平成27年度の維持管理事業等について検討を行った。公開については、名勝大乘院庭園文化館での音楽会や講演会等の企画の効果もあり、堅調を維持した。また恒例の「観月の夕べ」を仲秋の名月に合わせた9月8日に実施し、241人が来場し好評を得た。

* 奈良県及び奈良市等補助事業

≪保護管理委員会≫松村恵司・奈良文化財研究所所長、尼崎博正・京都造形芸術大学教授(当財団観光資源専門委員) 他

* 入園者数 11,368名

④ 東京都名勝 旧安田楠雄邸庭園の修復と管理活用事業 (東京都文京区)

修復事業においては、防空壕の天井の漏水補修、流し台の漏水補修、サンルーム床ゴムタイル張替え、建具及び御簾等の修理を実施した。また、庭園は、定期剪定を実施し、良好な状態の維持に努めた。また、管理活用事業においては、活用ワーキング会議を月に1回開催し、特定非営利活動法人文京歴史的建物の活用を考える会や専門家と協議を図りながら端午(5月)」「七夕(7月)」「重陽(9月)」「人日(1月)」「上巳(3月)」の五節句行事等の各種イベントの実施や貸館対応など適正な活用に努めた。また、昨年度から開始した旧安田楠雄邸の近隣文化施設3館(文京区立森鷗外記念館、金土日館、東洋文庫)における相互割引を継続するとともに文京区立森鷗外記念館の「鷗外パス」に協力し、相互割引を新たに導入した。また、彫刻の展示や文化財ウィークへの参加等、個人や自治体による文化的活動にも協力するなど様々な人々と連携をした取り組みを実施した。今年度より、東京都建設局が事務局を務める「東京の日本庭園おもてなし協議会」に旧安田楠雄邸も会員として参加し、庭園管理の手法に関する情報交換や、各庭園の連携イベント、日本庭園文化発信など、国内外からのお客様をおもてなしする取組の実現に向けて、具体的な意見交換を行った。また、保護管理委員会を11月6日に開催し、建物修理工事計画、定期修繕・剪定計画、公開・利用計画について検討を行うとともに構造補強に関する検討会の立ち上げを進めた。

*** 東京都等補助事業**

《保護管理委員会》大河直躬・千葉大学名誉教授(当財団観光資源専門委員)、井手久登・東京大学名誉教授(当財団観光資源専門委員)、樋渡達也・前文化財指定庭園保護協議会会長、河東義之・小山工業高等専門学校名誉教授、内田青蔵・神奈川大学教授、服部勉・東京農業大学教授 他

* 一般公開 7,267 名(公開日数 98 日)、貸館・団体見学・マスコミ等 19 件

⑤ 京都市指定文化財 駒井家住宅の修復と管理事業 (京都府京都市)

外部木製建具の修復および硝子パテ・塗装更新・二階南面サンルームの建具の一部修復および塗装作業を実施した。また、温室および離れの一部にシロアリが発生したため、床下の土の防蟻処理および床下取替工事を実施した。平成 20 年度に修理したパーゴラ上部の桁・梁材に劣化がみられ、端部が崩落寸前の状態であったため取り外し保管した。今後の修理について、京都市を含めワーキング会議で検討準備に着手した。庭園の管理については、近隣の安全確保のため隣家との境界上にあったダイオウショウの伐採作業を実施した。また、昨年開始した京都造形芸術大学による庭園実習を受け入れを継続し、当財団観光資源専門委員・駒井家住宅保護管理委員である同大学尼崎博正教授の指導により、樹木の剪定や園路の小修理等を実施した。管理事業においては、5 月にNHK朝の連続テレビ小説「マッサン」のロケを受け入れ、放映後多くの反響があった。また、高木良枝と管理業務委託契約を締結し、マネージャーを委嘱し、高木良枝をチーフマネージャーおよび防火管理者、國谷なつみをサブマネージャー(主に庭園担当)として管理を行い、研修会、見学会、講座等を開催するなど等積極的な活用を図った。また、東海道新幹線車内搭載誌「ひととき」で駒井家住宅の紹介記事を掲載していただくなど普及活動にも務めた。さらに、京都造形芸術大学映画学科との連携を強化し、同学科学生によるボランティアを受け入れ、庭掃除をはじめ、館内清掃、ガイドや受付の補助などの活動を行った。

《保護管理委員会》三村浩史・京都大学名誉教授(当財団観光資源専門委員)、山形政昭・大阪芸術大学教授、松井正文・京都大学大学院教授 他

*** 京都市補助事業**

一般公開 1,542 人(公開日数 64 日)、貸館・団体見学・マスコミ等 34 件

⑥ 旧モーガン邸の管理事業 (神奈川県藤沢市)

適切な安全管理及び地域活性化の観点から、平成 23 年度より実施しているJNTと特定非営利活動法人旧モーガン邸を守る会による活用試行を今年度も継続的に実施した。月 1 回の庭園公開とイベントを実施しており、今年度も順調に推移した。日常の維持管理については、守る会との管理委託契約に基づき、1ヶ月に1回の清掃ボランティア活動を継続的に実施した。また、一般社団法人日本建設業連合会の社会貢献の一環として庭園清掃のボランティア活動の受入を行った。

危険な状態にある焼失した上屋の撤去を1月の世話人会で、上屋周囲への防護柵の設置を2月の世話人会に提案し、その後近隣住民への環境配慮として樹木の伐採等を実施した。引き続き安全確保(最終的には焼失建物の撤去)を実施していく予定である。また、藤沢市を主体とする公園化にむけて遺構表示の具体的内容、土地譲渡の条件等について藤沢市と調整を進めていたが、交渉が難航したため、藤沢市主導で藤沢市・JNT・守る会の3者による協議の場を設けることとなり、3月25日に第1回目の会議を開催した。

《保護管理委員会》井手久登・東京大学名誉教授(当財団観光資源専門委員)、吉田鋼市・横浜国立大学教授、亀山章東京農工大学名誉教授、村上詔一・公益財団法人文化財建造物保存技術協会審議役(当財団理事)、大野敏・横浜国立大学准教授、水沼淑子・関東学院大学教授、菅孝能・山手総合計画研究所代表取締役、他

⑦ 文化財取得保護計画募金計画の継続

文化財取得保護計画における募金計画の成果を受けて、さらに利活用を目指した修復を実施するために、経済界および関係諸団体、会員などに対し広く呼びかけを行い、募金活動を推進した。

(2) その他の保護事業

①天心遺跡記念公園及び天心墓地の保護管理（茨城県北茨城市）

天心遺跡記念公園においては、定期的な除草、清掃作業に加え、安全対策のため、天心遺跡記念公園内の井戸のふた設置およびぐらつきが生じていた墓地内石の補強工事を実施した。天心墓地では、除草作業と月 2 回の点検と供花を行った。10 月 25 日・26 日には「大観月会 2014」が開催され、講演会、天心邸での茶会等が行われた。

《保護管理委員会》豊田稔・岡倉天心偉績顕彰会会長、小泉晋弥・茨城大学教授、猪瀬幸己・茨城県立天心記念五浦美術館館長 他

* 北茨城市補助事業

②ED70 形 1 号交流電気機関車の保護管理（滋賀県長浜市）

西日本旅客鉄道(株)寄贈の ED70 形 1 号交流電気機関車を長浜市民やボランティアによる保護管理を行い、広く一般に公開している。また、平成 22 年度からジェイアール西日本商事株式会社により商品化された「ED70-1 ナンバープレート」については引き続き、連携して販売・普及に努めた。さらに、売り上げの一部を当財団に寄付することを条件に ED70 のイラストを利用した菓子の販売についての契約を株式会社タカチホと締結した。

③巻機山の景観保全（新潟県南魚沼市）

8 月 23 日から 25 日まで景観保全ボランティア活動を実施し、東京農大をはじめ 15 名が参加した。主に 8 合目付近ガレ場の植生復元と今年度にも新潟県が施工した木道工事協の植生の景観的フォロー、植生復元エリアを認識してもらうための表示等の作業を行った。なお、夏季活動の進捗および新潟県・群馬県による整備工事の実施状況を考慮し、秋季活動の実施の必要性は低いためと休止した。

活動実施日 夏季活動:8 月 23 日から 25 日

参加者総計 15 名

④東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクトの実施

東日本大震災で被災した自然・文化遺産について、地域(まち)の“シンボル”でありながら、国や地方公共団体による支援の及ぶにくいものの復旧・復興を支援する「SEEDS OF FURUSATO～東日本大震災自然・文化遺産復興支援プロジェクト～」を引き続き推進した。

今年度は第四次支援事業の募集を行い、特別委員会での厳正な審査に基づき、申請のあった 23

件のうち、11 件(建造物・記念物 8 件、民俗文化財・無形文化財 3 件)の支援対象を採択し、合計 1,150 万円の助成を行うことを決定した。また、パートナー事業「机浜番屋群再生プロジェクト」(岩手県田野畑村)において、8 月 30 日、石運搬作業や屋根への設置、壁や床板の塗装作業等を行うボランティア活動が行われ、これに際し、当プロジェクトへの寄付者や会員に参加を呼びかけるとともに、当財団職員が活動に参加し、地元の方々との交流を図った。また、支援対象遺産として選定し、助成を行った第二次支援対象「宮本家住宅」および第三次支援対象「旧矢中家住宅」の特別見学会を寄付者・会員を対象に開催した。この2つの対象遺産のある茨城県つくば市北条は、東日本大震災だけでなく平成 24 年 5 月に襲来した竜巻被害を大きく受けた地域であり、今回の見学会は二度の大災害からの復興の取り組みについて知るとともに、地域に活力をもたらす機会となった。

(ア) イベント等の実施・参加

・パートナー事業「机浜番屋群再生プロジェクト」復元作業ボランティアの呼びかけ・参画

<日 程> 8 月 30 日

<場 所> 机浜番屋群(岩手県田野畑村)

<主 催> 机浜番屋群再生プロジェクト実行委員会(事務局: 田野畑村役場)

<参加者数> 約 40 名(地元自治会、漁師、番屋の元所有者、全国からのサポーターなど)

・つくば市北条「宮本家住宅」・「旧矢中家住宅」特別見学会開催

<日 程> 9 月 14 日

<場 所> つくば市北条「宮本家住宅」(第二次支援事業対象遺産)・「旧矢中家住宅」(第三次支援事業対象遺産)等

<主 催> 公益財団法人日本ナショナルトラスト

<協 力> 宮本孝、特定非営利活動法人“矢中の杜”の守り人、北条街づくり振興会、つくば市教育委員会、一級建築士事務所 株式会社里山建築研究所

<参加者数> 13 名

(イ) 助成事業の状況

6 月 25 日…第四次支援事業募集開始

9 月 30 日…第四次支援事業募集締め切り

※23 件の申請があった。(有形文化財・記念物 14 件、無形民俗 9 件)

12 月 15 日…第 4 回支援事業特別委員会開催

12 月 17 日…第四次支援対象を決定・リリース

(ウ) 募金の状況

本年度は、法人 511,837 円、個人 5,397,457 円、パートナー事業 29,000 円合計 5,938,294 円の募金が寄せられた。(平成 27 年 3 月末累計 67,025,270 円)

(3) ヘリテイジセンターの管理運営

① 葛城の道歴史文化館の管理運営 (奈良県御所市)

平成 23 年度に(財)日本宝くじ協会の助成事業として、内装及び外装工事の他、トイレ等水回りの改修、冷暖房設備の新設、電機設備改修等を実施し、展示についても御所市の予算により、葛城古道の航空写真を新設したほか展示を一新したことで、来館者へのサービス充実も図れ、好評を得ている。(入館者数 9,221 名)

② 飛騨の匠文化館の管理運営 (岐阜県飛騨市)

管理運営については安定した体制での管理を目的に、白川村在住の JNT 会員からなる白川ボックスと管理業務委託契約を締結し、日常点検や清掃、軽微な修理、屋根のメンテナンス等を実施している。一般公開等の活用としては、7 月 31 日～8 月 31 日に夏季開館を実施した。

③ 白川郷合掌文化館(旧松井家)の管理運営 (岐阜県白川村)

6 月 11 日には白川ボックスの総会、8 月 19 日には白川郷合掌文化館及び旧寺口家管理運営委員会が開催され、白川郷合掌文化館の茅葺屋根葺き替え事業についての協議などが行われた。展示コーナーや体験コーナー等を活用しながら、飛騨の匠の技を体感できる場として、また歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮した。また、台湾台中市で2月に開催された「古川祭台湾交流展覧会」の匠の技コーナーにおいて同文化館の展示品の紹介を行う等様々な取り組みが実施された。(入館者数 6,430 名)

④ 名勝大乘院庭園文化館の管理運営 (奈良県奈良市)

「文化サロン」や「庭園講座」等を実施したほか、庭園との共催で仲秋の名月に合わせた「観月の夕べ」を9月8日に実施、お茶席も設け大変好評であった。また、恒例となった「なら燈花会」に併せてフォークライブや「珠光茶会」など奈良での大きな観光イベントの会場に利用され、来館者も着実に増加した。(入館者数 51,023 名)

⑤ 長浜鉄道文化館の管理運営 (滋賀県長浜市)

長浜市および長浜観光協会により、企画展「光り輝く新幹線展」が開催されるなど、積極的な活用が図られた。また、年間を通じ長浜の鉄道史を紹介するほか、HOゲージ運転コーナーも設けられ、歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮した。(入館者数 58,564 名※長浜スクエアとしての入館者数)

⑥ 琴引浜鳴き砂文化館の管理運営 (京都府京丹後市)

日本や世界の鳴き砂の展示や世界各地から漂着する漂着物などの常設展示のほか、文化館が自主事業で行っている体験ツアーや地元在住の写真家の展覧会を開催するなど地域の魅力を発信する特別展示を実施している。また高校生ボランティアの受け入れを行い将来の地域づくりを担う人材育成に取り組んだ。今年度は、京丹後市が設置した合併浄化槽の接続工事を実施した。(入館者数 9,572 名)

⑦ 北陸線電化記念館の管理運営 (滋賀県長浜市)

D51 形蒸気機関車と ED70 形 1 号交流電気機関車を並べて展示するとともに、交流電化の歴史資料等のパネルを展示した。Nゲージ模型車両レイアウト展示を行い、旧長浜駅舎および長浜鉄道

文化館と一体となった企画、運営を行った。(入館者数 58,564 名※長浜スクエアとしての入館者)

⑧ 村上歴史文化館の管理運営 (新潟県村上市)

(財)イヨボヤの里開発公社により、常設展に加え、北限の茶処である村上のお茶の歴史等について展示等を行う「北限のお茶展」、村上市の出前講座を活用した「村上の美味しいお魚再発見！」等が開催され、歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を発揮した。(入館者数 14,329 名)

⑨ 四国鉄道文化館の管理運営 (愛媛県西条市)

西条市により本館に隣接して四国鉄道文化館南館が建設された。また、「鉄道ホビートレイン」等の企画展の開催や新幹線開業 50 周年を記念したイベント、ミニ SL 乗車会等を実施するなど、十河信二記念館、観光交流センターとともに形成される「鉄道歴史パーク in SAIJO」として積極的な活用がなされた。(入館者数 58,731 名)

⑩ 各ヘリテイジセンター間の連携

地域まちづくりの情報発信地として運営される各ヘリテイジセンターの連携を推進した。

3 普及事業

(1) 会員事業

① 見学会・催し物等の開催

(ア) トラストトレイン

・トラストトレイン運行

< 運転日及びボランティア参加者数 >

4 月 19 日(3 名)、6 月 15 日(6 名)、7 月 5 日(1 名)、8 月 23 日(22 名)、10 月 4 日(2 名)

※8 月 23 日は親子ボランティアを実施

・車体塗りボランティア活動

< 実施日及び参加者数 >

12 月 6～7 日 (6 名)

(イ) 旧安田楠雄邸庭園

4 月 30 日～5 月 4 日……………端午の節句

6 月 7 日……………福楽寄席

7 月 2 日及び 5 日……………七夕の節句

7 月 12 日……………新内節の夕べ

8 月 9 日……………防空壕公開

9 月 27 日……………語りと和楽「七つの顔の銀次」

9 月中公開日……………北村四海作 彫刻展示

10 月 5 日……………Tsunami ヴァイオリン in 千駄木

10 月 15～25 日の公開日……重陽の節句

11 月 1～5 日……………文化財ウィーク(「馬に会う」)

1 月 7 日……………人日の節句

3月28日……………しだれ桜と薩摩琵琶

(ウ)駒井家住宅

10月25日……………すまい文化講座「W.M.ヴォーリズによる住宅建築」

11月15日……………すまい文化講座「駒井家住宅で考える—建てる、住もう—」

②会員活動の支援

当財団は会員の自主的な活動に対して、様々な支援を行った。

(ア)地域活動

白川ボックス／ヘリテージセンター白川郷合掌文化館の開館・建物維持管理

4月……………雪囲いはずし

6月11日……………合掌文化館 清掃

7月31日～8月31日…合掌文化館 開館

12月……………合掌文化館 雪囲い

1月……………合掌文化館 雪降ろし

(イ)サークル活動

A. 鉄道サークル／会合等

B. 民家サークル／ 総会、見学会、講演会、サークルニュース発行等

5月24日～25日……………見学会「神戸の町並み」

7月 9日……………話題提供「佐渡のお話し」

7月12日……………見学会「江戸が息づく土浦、水戸街道真鍋宿、看板建築の石岡」

8月26日……………上映会「まちや紳士録」

9月 13日～14日……………見学会「佐渡の町並み」

10月5日……………見学会「三里塚教会岩崎久彌末廣別邸」

1月25日……………見学会「粋な路地の街 神楽坂と新年会」

③会員増加キャンペーンの継続

関連団体及び企業の協力により、入会申込書の配布や設置、ポスター掲出等を行い、入会促進に努めた。また、期間限定で以下のキャンペーンを行った。

(ア)入会金無料キャンペーン

1月1日から3月31日までに入会した方を対象として入会金を無料にするキャンペーンを実施した。

(イ)プラスワンキャンペーン

4月1日から5月31日まで会員の紹介者に対して入会金無料及び会報のバックナンバー無料のキャンペーンを行い、積極的にPRした。

(2)広報事業

①会報「日本ナショナルトラスト報」の発行・配布(隔月刊)

年間6回の発行で紙面の充実した会報作りを行っている。会員へ配布するとともに、事業協力者へも広く頒布し、ナショナル・トラスト活動の普及に努めた。

<体裁>B5 16頁 <発行部数>3,000部 <通巻>501号～506号

501号 特集「輪島市 間垣の文化的景観を活かした地域づくり」

502号 特集「田沢湖で全国鳴き砂サミット開催」

503号 特集「トラストレイン 夏の親子ボランティア開催」

504号 特集「名勝旧大乘院庭園 観月の夕べ開催」

505号 特集「ひょうたん島復興プロジェクト」

506号 特集「SEEDS OF FURUSATO 第四次支援対象決定」

②メールマガジンなどの普及宣伝ツールの充実

月2回程度のメールマガジンを配信し、会員および事業協力者へのタイムリーな情報発信を図るほか、ナショナル・トラスト活動の普及に努めた。(登録者数 約300名)

③広報宣伝活動の強化

(ア)「学生観光論文コンテスト」の実施

一般財団法人日本ホテル教育センターとの共催により第4回学生観光論文コンテストを実施した。審査委員会により49編の応募の中から、優秀賞2編、努力賞1編が選定された。また、2月17日に第43回国際ホテル・レストラン・ショー(東京ビッグサイト)会場内にて第4回学生観光論文コンテスト表彰式が執り行われ、立教大学 経済学部経済政策学科4年、菊地ゼミ(経済学部)山田 俊太他8名に対し「公益財団法人日本ナショナルトラスト会長賞」を授与した。

<募集論文テーマ>

A)「観光立国で日本を元気にする方策について、私の提案」

B)「観光資源保護におけるナショナル・トラスト活動の役割について、私の提案」

C)「我が国のMICE競争力強化に向けて、私の提案」

<募集期間>平成26年10月1日～11月28日

<表彰>平成27年2月17日

【(公財)日本ナショナルトラスト会長賞】

立教大学 経済学部経済政策学科4年、菊地ゼミ(経済学部)山田 俊太他8名

テーマA「日本観光立国化に向けた新たな旅館像の提言～独自調査から見えた外国人旅行者誘致課題の解決を通して～」。

(イ)「ツーリズム EXPO ジャパン 2014」に参加

9月25日～28日に東京ビッグサイトで開催された「ツーリズム EXPO Japan 2014」において一般社団法人日本旅行業協会の協力のもと、同協会が運営する社会貢献ブースにて当財団のPR活動を実施した。持参したパンフレット類がすべてなくなるほどの盛況で当財団の活動に興味を持っていただいた多くの方々から募金を頂戴した。

(ウ) 関係団体の広報協力

旧安田楠雄邸庭園について JR 東日本の各媒体において継続的に取り上げていただいている

ほか、東京メトロでも「東京メトロニュース」への掲載等の広報協力をいただいた。駒井家住宅及び旧大乘院庭園については、JR 西日本や叡山電鉄から継続的に広報協力を得ており、プロパティ及びプロジェクトを通じ、広く当財団の紹介を行っていただいた。JR 東海と JR 西日本のご協力により新幹線搭載誌「ひととき」に定期的に当財団の PR ページを提供いただき、大きな効果があった。

(エ) その他メディア取材他

アジアにおける歴史的建造物の保存をテーマとした韓国中央日報の取材を受け、小山理事長がインタビューに応じた。

(3) その他普及事業

①地域遺産支援プログラム(仮称)の実施

文化財等の指定を問わず、有形無形の別なく、その地域にとって大切に、また観光の魅力となりうる自然遺産や文化遺産である地域遺産が、地域によって持続的に保存・活用がなされ、次の世代に継承されていくための支援を行うことを目的としている。本年度はモデルツアーとして「佐渡の町並み」を実施し、伝統的建造物群保存地区に選定されている宿根木をはじめとして、小木、赤泊、相川の町並みを地元の方にご案内いただくとともに空家になっている歴史的建物の活用試行の一環である民家ステイを取り入れるなど地域と連携した取り組みを行った。また、尾道市において開催された検討会や宮城県気仙沼市で開催されたワークショップへ職員を派遣し、今後の事業展開に向けての準備を進めた。

②「会員の集い 2015」の開催準備

会員に事業内容を伝えると共に、会員同士の交流の輪を広げてもらうことで今後の会員獲得へつなげるため、「会員の集い 2015」を開催する準備を行った。

③各種シンポジウムなどイベントの開催

各保護資産およびヘリテイジセンターにおいて前述の通りのイベントを開催した。

4 ネットワーク事業

(1) 各ネットワーク事務局の運営支援と連携協力

①「全国鳴砂ネットワーク」への支援

田沢湖(秋田県仙北市)で総会及び鳴き砂サミットを開催し、全国から 14 浜・12 団体が出席した。サミットでは小山 JNT 理事長から仙北市長に「田沢湖白浜」の鳴砂認定証を贈呈し、鳴砂やクニマスの復活に取り組む地元の活動への後押しを行った。その後、市民だけでなく観光客を巻き込んだ清掃活動の実施、県・市による本格的な調査と保護活動への支援が検討された。

<会期> 6月7~8日

<会場> 田沢湖の白浜(秋田県仙北市)

<参加者数> 約70名

②「全国近代化遺産活用連絡協議会」への支援

鳥取県若桜町で開催された総会・フォーラム等に参加した。国から 19 市、6 県、7 賛助会員ほか約

150 人が参加し、沿線一括登録文化財の嚆矢である若桜町において、「鉄道遺産を守る・活かす」をテーマにしたフォーラムが行われた。国土交通省や文化庁による報告、各地の活動団体によるパネルディスカッション等が行われたほか、第1回となる鉄道遺産部会が併せて開催された。

<会期> 7月3日～5日

<会場> 鳥取県若桜町

<参加者数> 約150名

③「一般社団法人日本茅葺き文化協会」への支援

全国茅葺き民家保存活用ネットワーク協議会を前身として、一般社団法人日本茅葺き文化協会が設立され、現在は団体会員として加入している。本年度も情報交換・交流の場として連携を図った。長浜市で開催された総会及び第5回茅葺きフォーラムに出席し、次年度以降に実施予定の白川郷合掌文化館(旧松井家)の屋根葺きについて協力要請を行った。

<会期> 6月14日～15日

<会場> 長浜市

<参加者数> 約90名

④「湘南邸宅文化ネットワーク協議会」への支援

会員として参画し、協力を継続している。

⑤「ヴォーリス建築文化全国ネットワーク」への支援

会員として参画し、協力を継続している。

5 団体交流事業

当財団は文化財や自然環境の保護・保全を目的とする各種団体と交流を図り、情報の交換、事業協力を行った。また、国内の諸団体や海外のナショナルトラストをはじめとする環境保全団体等と交流を行い、情報収集に努めた。

(1) 国内交流事業

①国内保護団体との連絡連携及び情報の交換

(ア)「第37回全国町並みゼミ鹿島・嬉野大会」に参加

全国で町並み保存に関わる地域住民や研究者、専門家が年に一度集まり、情報交換や勉強を行う大会に出席した。佐賀県鹿島市・嬉野市にある3つの重要伝統的建造物群保存地区を中心に、「つなごう歴史遺産 みがこう町並み文化～有明海で栄えた塩田津と浜宿」をテーマに開催され、現況の報告や保存、管理の問題点や課題について協議した。

<会期> 11月7日～9日

<会場> 佐賀県鹿島市・嬉野市

(イ)第42回歴史的景観都市協議会総会(宇治大会)出席

歴史的景観都市協議会総会に職員が出席した。全国から46自治体等が参加し、歴史的風致維持向上計画や文化的景観に関する情報交換を行った。

<会期>10月23日～24日

<会場>京都府宇治市

(ウ)第36回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会出席

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている若狭町・熊川宿を中心に開催された総会に出席した。全国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている自治体の行政関係者や地区住民が一堂に会し、各地区の問題や課題について議論を行い、情報交換に努めた。

<会期>5月22日～24日

<会場>福井県若狭町歴史文化館

(エ)文化財庭園保存技術者協議会総会及び研修会出席

文化財庭園の保存維持管理に携わってきた技術者及び学術経験者による協議会の総会及び研修会に出席し、より広い視野に立った文化財庭園の保存継承のための活動のため、課題の共有及び情報交換に努めた。

<会期>7月25日～27日

<会場>神奈川県横浜市三溪園

(オ)観光立国推進協議会への出席

1月20日に開催された100企業・団体が参画する観光立国推進協議会に出席した。協議会において「観光立国実現に向けた提言」が取りまとめられ、久保観光庁長官に提出した。

<会期>1月20日

<会場>東京プリンスホテル

②登録を行っている諸団体

(公社)京都市観光協会、(公社)国際観光施設協会、(社)日本観光振興協会、(社)日本観光通訳協会、(一社)日本茅葺き文化協会、((公財)日本交通公社、特定非営利活動法人文京歴史的建物の活用を考える会、一水会、文化財保存全国協議会、産業考古学会、鉄道友の会、日本鉄道保存協会、全国近代化遺産活用連絡協議会、湘南邸宅文化ネットワーク協議会、ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク

③その他

(ア)文化庁「NPO等による文化財建造物の管理活用推進委員会」への参画

昨年度は「NPO等による文化財建造物の管理活用推進委員会」の委員を委嘱されていたが、本年度からは同委員会のオブザーバー団体として参加することとなった。

(イ)琴引浜の環境を見守る委員会の委員委嘱

職員が委員として参画し、5月17日に第13回、11月22日に第14回委員会に出席した。

(2)国際交流事業

①海外保護団体との連絡連携及び情報の交換等、国際交流の推進

本年度も歴史遺産・自然環境の保護・保全を目的とするナショナルトラスト活動を行う世界各国の各種団体と交流を図り、情報の交換、事業協力を努めた。

(ア) 日韓観光交流拡大シンポジウム出席

来年の国交正常化 50 周年を契機に、友好交流の促進に向けてさまざまな取り組みがおこなわれており、8 月 28～30 日には両国の交流人口の拡大を目指して両国観光業界共同参加「日韓観光交流拡大シンポジウム」がソウルで開催され、職員が出席した。また、12 月 3 日には、東京でも同シンポジウムが開催され、役職員が出席した。

(イ) 韓国文化遺産国民信託の視察の受け入れ

9 月 21 日～26 日の 6 日間、韓国の特殊法人文化遺産国民信託(英文名: The National Trust for Cultural Heritage)の保存管理部 文勝炫部長、会員管理部金仁淑部長、協力支援部林在栄研究員の 3 名が来日され、駒井家住宅、名勝旧大乘院庭園、白川郷合掌造民家、旧安田楠雄邸庭園といった各地の JNT プロパティやヘリテイジセンターを視察した。また、9 月 26 日には JNT 事務所に視察団が来訪し、理事長をはじめ事務局員と情報交換を行った。

<交流を図っている団体>

英国ナショナルトラスト(名誉会員)

英国シビクトラスト(正会員)

米国ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

オーストラリア・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

ニュージーランド・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

クイーンエリザベス II 世ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

ジョージア州ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

フィジー・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

バミューダ・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

IV 登記事項、届出・報告・申請事項

1. 登記事項

平成 26 年 6 月 16 日

・佐々木隆評議員の辞任、田川博己評議員の就任、大塚陸毅代表理事の退任、梅崎壽代表理事の就任、川村恒明代表理事の重任、大塚陸毅理事、東濱忠良理事、野中雅志理事の退任、梅崎壽理事、酒井俊臣理事、山村明義理事の就任、厚地純夫理事、川村恒明理事、木部義人理事、栗田亘理事、小山正宣理事、柴崎信三理事、柴田耕介理事、杉田房子理事、杉山篤史理事、鈴木雅和理事、中村達朗理事、原口宰理事、見並陽一理事、村上詎一理事、廻洋子理事、森まゆみ理事、山村晋一理事の重任、上村宗弘監事の退任、山科清一監事の就任、今村正監事の重任

2. 届出・報告・申請事項

平成 26 年 5 月 8 日

・理事変更届出(内閣府)

平成 26 年 6 月 30 日

・事業報告等の提出(内閣府)

平成 26 年 7 月 11 日

・代表理事変更届出(内閣府)

・評議員、理事及び監事変更届出(内閣府)

平成 27 年 3 月 30 日

・事業計画書等の提出(内閣府)

別表

東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト助成金交付一覧表

(単位:円)

種別	対象遺産名	所在地	交付額	事業内容
第二次	千葉家唐獅子土蔵	岩手県一関市	2,500,000	南面崩落部修理および西面内部応急措置。
第三次	蓬萊島弁財天像	岩手県大槌町	1,500,000	津波により破損した弁財天像と厨子の修復工事
	村上家住宅	岩手県一関市	1,000,000	馬屋茅葺き屋根修繕 主屋内かまどの再復元
	二渡神社拝殿、幣殿、鳥居、参道	宮城県石巻市	2,200,000	社殿の不同沈下修理、流出した石鳥居の木材による復原、参道の整備
	岩角山	福島県本宮市	1,000,000	奥の院修復、那智観音堂解体修復 修復工事に伴う資材搬入路工事
	旧矢中家住宅 離れ	茨城県つくば市	2,000,000	離れの倒壊を防止するための補強工事
	後藤織物工場・主屋・旧釜場	群馬県桐生市	2,200,000	屋根、外壁、塗装等の修復工事
	四日町手踊り組	岩手県大槌町	180,000	宮太鼓足袋、鳴子袋、鳴子鉢 巻他の購入
	小河原町内会の虎舞	岩手県大船渡市	200,000	虎舞幕、股引きの購入
第四次	五十鈴神社	宮城県石巻市	526,900 ※	鳥居の修復、社殿の不陸修正、参道の修繕
パートナ事業	尾形家住宅	宮城県気仙沼市	938,700	部材の修復工事
合計			14,245,600	

※一次払金

参考

アドバイザー名簿（平成 27 年 3 月 31 日現在）

アドバイザー 大塚 陸毅 東日本旅客鉄道株式会社相談役

以上 1 名

顧問名簿（平成 27 年 3 月 31 日現在）

顧問	石原 進	九州旅客鉄道(株)相談役
顧問	石渡 恒夫	京浜急行電鉄(株)取締役会長
顧問	大須賀 頼彦	小田急電鉄(株)取締役会長
顧問	大橋 洋治	ANA ホールディングス(株)取締役会長
顧問	奥 義光	東京地下鉄(株)代表取締役社長
顧問	尾関 宗園	大徳寺大仙院閑栖
顧問	木村 操	名古屋鉄道(株)相談役
顧問	小山 薫堂	放送作家
顧問	佐々木 隆之	西日本旅客鉄道(株)取締役会長
顧問	須田 寛	東海旅客鉄道(株)相談役
顧問	須田 征男	北海道旅客鉄道(株)代表取締役会長
顧問	清野 智	東日本旅客鉄道(株)取締役会長
顧問	高橋 壽夫	日本空港ビルデング(株)顧問
顧問	筒居 博司	前・(公財)日本ナショナルトラスト理事長
顧問	夏目 誠	成田国際空港(株)代表取締役社長
顧問	根津 嘉澄	東武鉄道(株)取締役社長
顧問	伏見 勝	元・報知新聞社最高顧問
顧問	松田 清宏	四国旅客鉄道(株)代表取締役会長
顧問	MARI CHRISTINE	異文化コミュニケーター
顧問	三浦 朱門	日本芸術院長
顧問	村田 光平	地球システム・倫理学会常任理事

以上 21 名

参与名簿（平成 27 年 3 月 31 日現在）

参与 与 木戸 寛孝 NPO 法人世界連邦 21 世紀フォーラム理事長

以上 1 名

観光資源専門委員名簿（平成 26 年 3 月 31 日現在）

観光資源専門委員	尼崎 博正	京都造形芸術大学教授
〃	井手 久登	東京大学名誉教授
〃	大河 直躬	千葉大学名誉教授
〃	大塚 初重	明治大学名誉教授
〃	西村 幸夫	東京大学教授
〃	三隅 治雄	東京文化財研究所 名誉研究員
〃	三村 浩史	京都大学名誉教授
〃	宮脇 昭	横浜国立大学名誉教授

以上 8 名